

文教厚生免任議会

委員会メンバー

橋本功委員長、工藤保雄副委員長、
荒牧俊一委員、太田吉浩委員、
柄原辰郎委員

千円と費用弁償のみ。この金額が妥当かどうか、検討すべきでは。

村には報酬等審議会があり、報酬が適正かどうか、村長が諮問するが、合併後開かれていない。

議会事務局長

人権対策課、環境対策課、保育所、
住民福祉課、健康推進課、
教育委員会

委員会での主な審議内容

持続可能な水道事業に向けて

〈柄原委員〉

久木野地区水道事業の管理一元化。
地元集落への説明は。

〈環境対策課主幹〉

久木野地区の管理一元化をはじめ、
村全体で持続可能な水道事業実現の
ため、30年度に水道事業アセットマ
ネジメント策定委託業務費400万
円を計上した。その調査を踏まえ、
統一料金も算定し、説明に行きたい。

〈荒牧委員〉

たびたび指摘してきたが、中松区
から両下田区にかけては低水圧が課
題だ。早急に計画取りまとめを。

民生委員の待遇改善は

〈工藤副委員長〉

民生委員の手当ては、年間7万1
発事業、具体的に何をするのか。

所管課

人権対策課、環境対策課、保育所、
住民福祉課、健康推進課、
教育委員会

橋本功委員長、工藤保雄副委員長、
荒牧俊一委員、太田吉浩委員、
柄原辰郎委員

ファミリーサポートはいつから

〈太田委員〉

新年度から社会福祉協議会（社協）
に委託して運用するファミリーサ
ポートは、いつから始めるのか。

〈住民福祉課室長〉

子供を預かる方（提供会員）を募
集しているが、まだ成り手がない。
会員が揃わないと始められず、現時
点ではいつからとは言えない。

乳がん検診助成、年齢引き下げは

〈太田委員〉

乳がん発症が低年齢化している。
昨年要望したが、検診助成を30代か
らに引き下げられないか。

〈健康推進課係長〉

指摘を頂き、近隣自治体の状況を
調べた。30代からの乳がん超音波検
診を30年度から導入したい。

介護予防普及啓発事業とは

〈柄原委員〉

前立腺がん検診も安くできないか、
30年度から検討している。

村営塾の全員受講は

〈柄原委員〉

現在、87名中70名が受講するよう
だ。義務教育だが受講しない17名は。

〈教育長〉

学校教育から離れて、村が独自に
やる事業なので強制は出来ない。希
望を取つたが、既に塾に通つていた
り、部活動で遅くなる等、それぞれ
理由がある。それでも想定より多く、
3クラス対応を考えている。

健康推進課長

仮設・みなし仮設入居者の閉じこ
もりが増えている。その方々を対象
に、お茶会等を開催して、出てくる
きっかけを作りたい。



支え合いセンターの活動のようす

その他の質問や要望

〈工藤副委員長〉

・立野区の公費解体、進捗状況は。

・手狭な社協の施設規模、検討を。

〈柄原委員〉

・合併浄化槽、補助事業の一本化を。

・高校生の通学支援は、いつまで。

・被災公民館、改修時期の見込みは。

〈太田委員〉

・中学校体育館のトイレ、洋式化を。

委員長報告

当委員会に付託された全議案は、
3月13日に委員会を開催し、関係各

課から詳細な説明を受けた。

各委員からも活発な質疑があり、
慎重審議がなされた。

その結果、全議案、全委員の賛成
をもって、原案のとおり可決する事
に決定した。

